

平成27年12月13日執行

涌谷町議会議員選挙公報

涌谷町選挙管理委員会



佐々木 みさ子

- 活気ある町づくりを目指します
 - ・ 企業誘致で働く場所の確保
 - ・ 県内外から参加できるイベントの開催
- 女性が活躍できる場所の創設
 - ・ 道の駅の実現へ
 - ・ 農商工連携の強化
- 子育て支援と教育の充実
 - ・ 幼児、児童一時あずかり施設の確保 (麓岳地区・小里地区・東地区・西地区)
 - ・ 図書館の環境整備
 - ・ 児童館の預かり学年の延長
- 環太平洋連携協定(TPP)に
 - ・ 対して持続可能な農業支援の構築
 - ・ 所得向上を目指す農業基盤の確保
- 医療・介護・福祉施策の充実
 - ・ 町民が安心して生活できる環境作り
 - ・ 一時預かり介護施設の充実
- 【略歴】
 - ① 宮城県田尻高等学校商業科卒業
 - ② J Aみどりの女性部部长
 - ③ J Aみどりの理事
 - ④ 宮城県生活研究グループ連絡協議会会長
 - ⑤ 農業委員
 - ⑥ 農業環境技術研究所評価委員

やりたい事 いっぱい!



高橋 のぼる

農家の方の所得倍増、若者の新規雇用を...

高機能「道の駅」実現へ!

行動できる社会人をー

若く強い「人財」づくり!

〈プロフィール〉

東京の出版社を経て、仙台の広告代理店へ入社！
クリエイターとして、車のマツダ、三越、セキスイハウス等を担当。
ふる里＝涌谷町に帰郷。リカーショップタカハシを継ぎながら
商工会活動に8年間、役場の観光案内リーフレットや各祭り、
ポスター等の企画、デザインを担当。

〈涌高卒〉 涌谷町字田沼町11-3



大平 よしたか

- 「子育て支援は、全世代への支援」
夫婦就労・高齢祖父母の子育て不安解消を、
病児・病後児保育、何時でも預かり保育、
小学六年までの学童保育の早期実施を。
 - 「高齢者、障がい者支援」
安心安全で、楽しい暮らしの出来る
取り組み策の拡充を。
 - 「農業、地域産業の活性化支援」
企業誘致、町内事業所支援、農商工連携・
農業六次産業化支援。
高齢・介護施設などの従事者確保支援を。
 - 「豊かな自然を守り、災害の減災」
自然の豊かさで、近年の地震・豪雨による
災害発生危険度増加。早急に対策強化を。
- 大平は 皆さんの声と目線で
政策実現の努力を致しますので、
ご支援を頂きますよう
心からお願いを申し上げます
- 略歴
小牛田農林高等学校卒業
現、広報広聴常任委員会委員長
元、涌谷町農業委員
元、涌谷町体育指導委員
元、涌谷町社会教育委員



ながかつ 長崎たつお

二十一年間、スジを曲げない町民派のド根性!!
ゼツタイ許してはいけな!!
選挙妨害もする元果議
町長選の空白の二十一年間のナラシで

長崎を脅迫する!!
「あ書き方は何だ、今度はお前が戦犯だから」
政治家は三六五批判される職業だ言論表現の自由が保障
されてる今、こんな脅しが通用するとは呆れてものが言えない

長崎たつおは脅しに屈せず戦っています!!
六期目に挑戦!!
大橋町政を喝を入れるのは長崎たつおだけ!!
他の議員と一番大きな違いは
二十一年間、たつおが発行してきた議会報告は
昭和五十八年初選選、途中三転五起き、一匹狼と
言われたら、もつただけ、つた、二十一年の政治の知恵
を生かして、一人が、一人が、是非を貫いてきた
豊富な経験と実績を、かかせない。

財政分折、政策提言問題、追及も他をよせつけない。
何でもハイハイ、賛成議員か
まちとグググ、つた、つた、つた!!

長崎たつおは町民の幸せを守り
幸せをつくるため頑張ります!!

政策提言
1. 水害に強いまちづくり
2. 子どもと高齢者をおき取りにくいまちづくり
3. 不登校も少なく、隠れいじめをなくする
4. 将来を見据え、美里町と合併を目指す
5. 企業誘致と六次産業化の実現
6. 大崎市民病院を核としたサテライト病院で改革
7. 大崎定住自立圏の中で人口増を図る
8. 麓岳(大田地区)に小さな拠点をつくる
9. パラレル温泉観光を結び交流人口を増やす
10. 生活環境の整備促進

議員は行政の代弁者ではなく、全体的な視座で、
住みやすさ、まちづくりの議論をするのが本来の仕事です。
町長の小判さめ、でなく、まちと働く議員を送るべきです。
私たちの税金で仕事をし、議員は、いらない!!
議会活性化の灯も消さないでね!!

長崎たつおも議会に送るぞい!!

略歴
旧刈石中学校三年 昭和三十一年 石巻高校卒業
(郷校二十四回生)
涌谷町議会議員(五期)
大崎町行政事務組合議会議員
涌高PTA会長 石高PTA教養部長



おさき 大泉 治

今、涌谷町は新たな方向性
を見出し、前進しようとし
ています。

行政と議会が両輪となって
取り組んでいかなければなら
ない大事な時期でもあります。
議会は、しっかりとした倫
理観と秩序を持って、機能を
果たさなければならぬし、
住民には、分かりやすい説明
が求められます。

まちづくりは、人と人・住
民と行政が互いに理解しよ
うとする姿勢が大切だと思いま
す。そして住民一人ひとりが
それぞれの立場で尊重し合い、
「まちづくりに自分は、何か
できないだろうか」と
と言える町なら、きつと素敵
な町になるはずで。

私は、これまでの経験と実
績を生かし、そんな「こころ
豊かな町づくり」に努力しま
す。

略歴

- 現 涌谷町議会副議長
- 小牛田農林高等学校卒業
- 宮城農学寮専修科卒業
- 涌谷町農業協同組合青年部委員長
- 涌谷町農業協同組合園芸生産協議会会長
- 涌谷町社会福祉協議会理事
- 涌谷幼稚園愛育会会長
- 涌谷第一小学校PTA会長
- 涌谷高等学校PTA会長
- 宮城県指導農業主
- 涌谷町監査委員



すずき 鈴木 ひとまさ 61歳

すきです 涌谷

皆様には日頃より大変お世話になり
心より感謝を申し上げます。
この度の涌谷町議会議員の改選に
めいり立候補する決意をさせて頂きま
した。町民の皆様が幸せになる「町・涌谷」を
確かなものにします。

誠心・誠意

汗を流し努力してまいります
努力目標

- ・ 医療・福祉・介護のさらなる充実
- ・ 将来を担う子ども達の教育環境の整備
- ・ 麓岳山系の特性を生かした観光振興
- ・ 特性を生かした涌谷農業の振興
- ・ 商工振興とヤバ市街地づくり

昨日より今日

幸福を感じる

町づくり

皆様の変わりぬご支持ご支援を
お願い申し上げます



遠藤 とくお

町民の皆様は私の所信をお示
しいたしまして、立候補のご挨拶
を申し上げます。

私は、今涌谷町が抱える
最大の行政課題は、減少し
続ける町民人口対策の一点
に尽きる、と捉えております。
涌谷町は長年にわたる町民人口
の減少に起因して、私達の生活
にこれまで見られなかった多く
の行政上のひずみが発生してま
いりました。このことから、町の
人口を増加させるための施策は
多くの行政課題の解消に繋がる
ことになるはずである、と考
えております。人口増加対策は、今取
り組むべき最大の行政課題、と考
えている処であります。

町の人口を増やすには、
働く場所を確保すること
◎ 安心して働けるための、
子育て世帯への子育て支
援、要介護者を抱える世
帯への介護支援等の就労
支援の充実
が必要であります。町も今その
方向に向かつて、具体的に動き出
そうとしております。私はこの
町の姿勢を議会の立場から
推進し、支持して行きます。
この夏には、麓岳山の石仏公園
を舞台に三千人以上の人々を呼
び寄せた、若者による大きなイ
ベントがありました。このような行
動力のある若者と行政とが、
涌谷の観光資源の活かし方
について、魅力的な連携が
取れるようにも働きたい、ま
た町民の皆様による文化活動
に対する支援もして行きた
い、とも考えております。
皆様ののご支持を頂ければ、本
日に幸いに思います。



野の だ 野田 とおる

立候補のご挨拶

今や日本のみならず世界的にも、
異常気象による毎年のように、甚大な
被害が、発生しております。又、原
因不明な水害も、水害以上の災害
が度重なる水害、増え、私達の生活を支
える町・県の財政は、逼迫し、
人命までも奪われ人口減少も、必然的
な現状となります。想定外の言葉は通用し
ません。この大前提の基礎は通用し
ません。原簿再稼働は、許しません。町民皆様の
地に足のついた毎日の生活を守っていき
たいと思っておりますので、宜しくお願
い致します。

現在・未来の為の町作り

- ・ 水害に強い町づくり
 - ・ 町内各地の側溝の清掃、点検の実施
 - ・ 町道の未舗装部分とデコ、ボコ道の
修理、点検
 - ・ 地方創生予算枠による道の駅構想の
実現
 - ・ スクールバスの始発運行時間の見直し
の子育て支援・高体サポーター体制づくり
の構築(おひさまスマイル・ポランティ
アの活用)
 - ・ 学童保育と小六年生までの延長の要望
 - ・ 麓岳山系の環境保全・自然保護
 - ・ 観光客への案内板の設置等
 - ・ 特養老人ホームの拡充
 - ・ 障害者と健常者が共に参加できる
イベントづくり
 - ・ 町・県の連携を強化する。
 - ・ 中高年世代の生きがいのある生活作り
と食育・スポーツによる健康づくりと
未病対策
 - ・ TPPに代わって地産地消のすすめ
- 略歴
- 涌谷高等学校卒業
 - 東北学院大学 経済学部 卒業
 - 涌谷町国際交流協会副会長
 - 涌谷町行経堂
 - 元 涌谷観光タクシー(有)経営
元 警察官友の会 副会長

さいとう栄子立候補のご挨拶



さいとう 栄子

- 1、国際観光、天平ロマン館から
麓岳山に花の道公園の
実現。
- 2、涌谷町をもっと、キレイにし、
水が、美しい所で、子育てしたい、
若者を募り、人口、増します。
- 3、1人暮らし世帯は、近い将来、確実に、
激増します。若々介護の、方々の、
援助を、目指します。
- 4、耕作放棄地を、活用し、生薬栽培、
(かのこ草 黄金花等) 老後の、生きがいに
健康寿命100才に取りくみます。実現します。



大友けいいち (六十歳)

立候補のご挨拶

この度の改選にあたり小里地区の皆様をはじめ、町内有志の方々のご支援をいただき、再度浦谷町議会議員に立候補する決意をさせて頂きました。

私は、『若い力で新しい町づくり』を胸に刻み、人を思いやる心を忘れることなく活動し、安全で安心して暮らせる町、そして子や孫たちがどこに行っても誇れる町づくり、そして伝統と文化を守りつつ夢もてる、ふる里づくりに努力して参ります。

私の努力目標

- 子育て支援の環境や、高齢者福祉の拡充
- 自然災害に強い町づくり
- 町土の有効活用で産業振興を
- 箕岳山系の自然環境整備と観光振興の促進

この様な課題に取り組み、町民の皆様と共に努力して参りたいと考えております。皆様のご理解とご支持、ご支援を心からお願い申し上げます。

経歴

宮城県南郷農業高等学校卒業(昭和四十九年)
NPO法人 理事
一級土木施工管理技士



ひさつとむ 久 勉

!! 前進 !!

新しい街なみをづくりましよう!

◆主な経歴 ◆
東北学院大学 法学部法律学科卒業
浦谷町医療福祉センター管理課から
町民税務課まで十課の課長を務める
浦谷町議会議員
平成二〇年一月〜現在 (六十七歳)

これまでの重点的活動成果

- 子育て支援の充実
- 子供医療費無料化を中学生まで
- 特定健康診断受診率の向上
- 石仏町営栗林の有効活用
- 町税徴収率の向上と「ソビエ」での収納
- 下水道農業集落排水の接続率の向上
- 小中学校の規模の適正化

今後の重点的活動課題

- 新しい街なみの形成 (再生ではなく新生)
- 住みやすい生活環境の整備
- 住宅リフォーム費用の助成制度化
- 子育て支援 (家賃補助制度の創設等)
- (子供医療費無料化を高校生まで)
- 商工業者への支援
- 文化財を活かした観光振興
- 箕岳山観光道路の拡幅

浦谷でカネをまわそう

(WKMプロジェクトの立ち上げ)

温かい活動家をめざします!



もんでん 門田 よしのり 57才

(四期目に向けて)

門田よしのりの決意表明!

浦谷町が自立し、未来を担う若者が定住出来る町づくりをする為に、限られた財源の中で、いかに行政サービス効率化させ、住民サービスの向上をしていくのか、経営的視点で自治体の舵取りをしなければなりません。

その為にも、私、門田よしのりは、長年の経営者の経験を活かし、「納税者」としての地域住民の皆さんや中小企業の皆さんをはじめ、特に、若い世代の視点や考えを真摯に受けとめ、議員として町民を代表して、チェック機能を最大限活かし、今こそ議会の場で發揮し、全身全力で取り組んで参ります。ご支援賜りますよう、心よりお願い致します。

門田よしのりの政策目標

- 1、行財政改革に経営的視点で取り組む
- 2、女川原発から浦谷の安心・安全を守る
- 3、浦谷の宝の子供たちと地域を築いた高齢者の皆さんの社会参加をひらく
- 4、宮城県内に放射性廃棄物最終処分場はいらない
- 5、水害から町民を守る
- 6、議会を若い世代に近づける

政治経験は力です!

歴代町長の浦谷町議会議員初当選は、大橋庄治氏 三十七才、安部周治氏 四十才、大橋信夫氏 四十二才

門田よしのりは、四十一歳で初当選。現在3期、是非若さと行動力にご期待ください。あなたの「勇氣・元氣」私にください! 宜しくお願い致します。《オール与党議員では、浦谷町はダメになる!》



佐々木 としお

浦谷に生まれた縁がある。浦谷で育った恩がある。浦谷を変える夢がある。

共に創ろう

ふるさと浦谷

医療 介護 福祉	大きく変わる 医療制度・介護保険制度の対策	教育	学ぼう わくやの歴史・文化 社会に貢献できる人材育成
環境	災害対策の確立 自然環境の保全	産業	地場産品の開発 町民総参加のまちおこし

支えあえる地域づくりを!

未来の浦谷に

トライ!!



◆プロフィール◆

生年月日
昭和28年8月2日
浦谷町小塚生まれ
学歴
昭和47年3月
宮城県石巻高等学校卒業
経歴
行政書士(宮城県行政書士会会員)
浦谷町役場奉職(42年半)
浦谷町町民医療福祉センター副センター長
健康福祉課長・病院事務長
浦谷町民生委員推薦会委員
浦谷町社会福祉協議会理事
浦谷町障害者協議会
宮城県石巻高等学校ラグビー部OB会会長

浦谷町のため

地域のため 人のために
一歩一歩前進して参ります

立候補のご挨拶

平成二十三年の町議会議員選挙に、当選をさせて頂きましてから、早くも四年が経過し時の移ろいを感じているところです。

この間、国際的にも国内的にも、経済面はもちろん、世界各地においても自然現象の異変に数多く遭遇してきました。その中でも、東日本大震災は、経験したことのない大津波を伴った、まれにみる大きな自然災害でした。被災地復興のために、国を挙げて更に国際支援を頂きながら進んでいる復興事業ではありますが、四年以上を経過した現在においても、まだまだの状態です。福島県は、目を覆いたくなるような惨状です。福島に限らず我が宮城県におきましても、目と鼻の先の石巻をはじめとする、被災された沿岸地域の復興に、我が町と致しまして、一層の支援が必要と思われまます。

昨今は、過去に起きたことのない自然現象という言い方で、何が起きるか見当のつかない状況にあります。加えて当県に於いては、女川原発の安全性が危惧されております。

町民レベルでよく考え、想定外の現象は、もはや存在しないものと覚悟し、意識を高めるしかないと考えます。我が町におきましても、超自然現象への対策として、江合川・出来川の治水事業の実現をはじめ、山間部の土石流問題など諸々の懸案を抱え、真摯に且つ確実な実行に、努力しなければならぬと考えます。

前回のご挨拶でも申し上げました通り、諸々の事案につきまして、真摯に対応してきたつもりですが、まだまだ力及ばずの感を禁じえません。

しかし、各方面の皆様のご支援ご指導を頂戴しながら、皆様の今日までの私への信頼と激励に対し、感謝を忘れず、町政を預かる一員として努力をし、力及ばずではありますが、皆様のご意見ご要望に耳を傾け、町の均衡ある発展のため、地域の特性を生かした一体的な町づくりを目標に、全身全霊で取り組んできたところであります。

具体的には、及ばずながらも、東日本大震災にかかわる諸対応をはじめとし、浦谷町の商業地区の活性化、農産物のありかた、少子高齢化関連問題、福祉関連問題など、問題の山積する中、着実に前進してきていますと自負しております。

今後の浦谷町発展のためには、長期間の重要問題として、なによりも、「地域の産業振興」により、働く世代を中心とした「定住人口の増加」更に、かねてより取り組んでいる「福祉活動のさらなる充実」そして、「町民一体となり病院改革の課題に取り組む姿勢を醸成する」と考えています。

しつこくなりますが、今問われていることは、乗り越えていく道筋をつけ、前述事項を具現化することが重要なことだと考えます。更に、現在の骨組みに加え、各地域の中身の充実にも努めること、そして、現在策定されている総合計画が計画倒れにならないように、いかに具現化に努めることができるかにかかっています。

私は、計画は実現されていかほどと心得、道筋を見つけ、共に働き、ともに汗を流し、創造力を培いながら、具現化に努力を惜しまないことをお約束いたします。

後藤 洋一



よしいち ごとう 洋一



いなば 肇

浦谷町議会議員選挙立候補に当たり私の所信を申し述べさせていただきます。

町民の皆様もご承知の通り浦谷町はまもなく一万六千人台の人口になると予想されます。

このため、これまでの事業等大きく見直さなければならなくなるのは自明の理と思われま

これを人任せにするのではなく、深く自ら関与して減速浦谷町の行く末を照らそうと決意致しました。

（基本理念）

1 原発再稼働絶対反対(脱原発)

2 優しい浦谷町の創造

3 地場産業の育成と開発

以上を基本的な考え方として、産金遺跡、篔岳山などの観光開発、また道の駅構想など旧来の問題を考え、新しい構想を加えて未来に向かおうと思ひます。

西に困つて人がいればそこに走り、東に助けて欲しい人がいれば話を聞くというスタンスを、貫きたいと思ひます。

不撓不屈

で着実に

大嫌いな言葉は 長いものに巻かれる。応援いただければ、幸いです。

(略歴)

- 宮城県立宮城農学寮修了
- 仙台第一高等学校通信制卒業
- 石巻経理学校簿記専科修了
- 元浦谷町消防団員三四年在籍後退団
- 農業共済組合総代三〇年程
- 元篔岳小学校PTA会長
- 元浦谷高等学校PTA会長



ただのじゅん 只野 順

立候補のご挨拶

この度の改選にあたり町内の方々のご支援により、浦谷町議会議員に引き続き立候補の決意をいたしました。

これまでの私の活動は

●防災無線の設置、消防団の装備の充実を行いました。

●学校の統合による教育環境の整備を推進しました。

●議員定数の削減を行い、議会基本条例の制定による議会の改革を行ってまいりました。

これからも町民の皆様の声聞き、「町おこし、地域づくりの実現、さらに町の活性化」に努力してまいります。

変わらぬ目標

- 一．災害に強い安全・安心な町づくり
- 二．子育て・教育環境の整備
- 三．農業・商工業の活性化
- 四．健康と福祉の充実
- 五．行財政改革の推進

《具体的には》

◎ 町民のための病院改革を目指します。

◎ 子どもたちの元気あふれる場所として町中に児童館、図書館機能を兼ね備えた交流ホールの建設を目指します。

◎ 障がいをもつ児童の親御さんのために相談しあえる場所をつくり、安心して子どもと過ごすようにします。

「住み良い郷土 浦谷」

を作るために



たけなか ひろみつ 竹中 弘光

(58才)

この度、地域の皆様、町内有志の皆様方のご推薦を受け、過疎化に揺れる郷里を愛い、住みよい明るい地域づくりを努力するため、今回、浦谷町議会議員の選挙に立候補を決意した『竹中弘光』であります。

地域の多様性と活力を再生させるために、竹中に課せられた課題が多くありますが、明日の発展のため、町政の求めているのは若さと行動力だと思ひます。

私は、つぎの五つを政策目標とします。

- 防災対策の推進
- 若者定住と子育て支援
- 浦谷町地域包括支援センターの充実
- 老若男女のスポーツ推進
- 地域環境の整備

私は常に何事にも『日々前進』をモットーに取り組み活躍する決意であります。

皆様のご理解とご支援を、心からお願い申し上げます。

経歴

- 昭和五十五年三月 東北福祉大学社会福祉学部卒業
- 昭和五十五年四月 徳陽相互銀行(徳陽シティ銀行) 入行
- 平成十年十月 日新火災海上保険R A社員
- 平成十三年十月 日新火災海上保険代理店開業



せんこうけんいち

★スローガン

姓 浦谷！ 浦谷の底力 子どもは地域の宝です。 みんなで見守ろう！

★浦谷町の現状について

浦谷町は東北の中心地に位置しています。古川・石巻・迫町まで車で約30分、築館まで約40分、仙台まで約一時間強それぞれ車で幹線道路として国道108号線、国道346号線があります。わくや天平の湯、天平ろまん館その他数々の歴史文化遺産があります。これほど諸環境に恵まれた市町村はそう多くないでしょう。なぜ、活かしきれないのか。そこには民間の経営者の発想が必要と思われま

政策目標

- 浦谷町全体の柱となる施設の誘致道の駅構想 賛同者との連携
- 雇用と産直出品者の所得の創出 情報発信基地としての役割
- 子育て親子とも支援について 保育料・教材費・医療費助成等の経済的支援と併せて子育て支援サークルといった精神的支援活動への助成。

それにより若者・子育て世代の定住対策にも繋がります。

■町で策定中の住民主導による町づくり第五次浦谷町総合計画への全面的協力

■町興しの強力な巨額クルメの開発

現職 広告会社経営 高千穂商科大学商学部卒業 現 高千穂大学

これまでの主な活動経歴(元職)

- 浦谷町小・中学校PTA連合会会長
- 浦谷町立浦谷第一小学校PTA会長
- 遠田郡PTA連合会副会長
- 浦谷町立浦谷第一小学校学校評議員
- 浦谷町社会教育委員
- 浦谷町子ども会育成協議会役員
- 浦谷町青少年相談室青少年指導員
- 元気わくやふれあい町づくり実行委員
- 元気わくやふれあいサポート協議会委員

推薦人

- 元遠田郡PTA連合会 会長 佐々木慶一
- 元浦谷町立篔岳中学校PTA 会長 高橋洋子
- 元遠田郡PTA連合会 会長 今野 弥
- 元大崎市PTA連絡協議会 (現 大崎市PTA連合会) 会長 濱田政芳
- 元浦谷町立浦谷中学校PTA 会長 味上庄一郎
- 元加美町立中新田小学校PTA 会長



うすのみや よしやす

誓いと決意

この度私 浦谷よしかずは町民皆様とより身近な町制目指し立候補を決意いたしました。

我が故郷浦谷町の平和で安心な活力に満ちた暮らしを送れるよう最善を尽くします

この為、町民皆様からのその声をしっかりと聞き その声をこれまで培った知識と経験から全方位思考を駆使し、町政に反映してまいります

浦谷町を取り巻く環境は厳しく

多くの諸問題を抱え 閉塞感のある現状を打破する為一つ一つ解決しなければなりません

私浦谷よしかずは

次の政策の実現に向け努力して参る所存であります

- 一．農業・商工業の融合化
- 一．子育て・教育環境の整備充実
- 一．健康・医療・介護・福祉の充実
- 一．行財政の健全化

結果重視で 行動いたします



伊藤 まさいち

わが町住民のための町づくり
「仕事 職場づくり 人口 少子化
対策 財政金づくり」など
言い換えればわが町の農業を
はじめとする 商業 工業 人口
財政対策 学校教育 病院事業
などに取り組んでまいります。

この度の町議会議員の改選に当たり、地域・町内有志の方々のおささえにより再び立候補を決意いたしました。これまで多くの皆様方より賜ってまいりましたご指導お力添えに心より厚くお礼申し上げます。

いま私も地域地方は、限らない自由化、国際化の加速進展の中で活動力は極度に衰退し、農家の後継者が育たず、空き屋ばかりが目立ってきております。この影響は商店街も同様でございます。人影は激減し誠に危機的状況と申し上げざるをえません。

私は、涌谷町の「あしたのための町づくり」のためには、単年度で消費されてしまう、消費的経費のみではなく産業の育成・少子化対策・雇用対策・中小企業の育成誘致対策などには少なくとも年間予算70数億円もの5%位の資本的経費の当初からの予算化が必要であると考えざるを得ません。

何卒、地域町内皆様方のご指示ご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

7つの主張

1. 透明で明るく、身近な町づくり
2. 農工商共存の町づくり
3. 就労・福祉に取り組み町づくり
4. 「子供は宝」子育てに取り組み町づくり
5. 産業の振興と雇用の場の確保に取り組み町づくり
6. 「生産、販売、協同のある」町づくり
7. 健全財政を目指す町づくり

プロフィール

昭和30年 宮城県小牛田農林高等学校卒業
昭和46年 協同組合短期大学卒業
昭和32年 篤岳農業協同組合入職
平成9年 J.Aみどりの理事就任 以来12年間従事
平成9年 涌谷町社会福祉協議会理事 平成27年6月退任
平成16年 小里八幡神社総代長 現職
平成19年 涌谷町議会議員 現職
平成21年 涌谷町障害者支援協議会理事 平成27年6月退任



すぎむら 謙一 日本共産党

若さと行動力を
発揮して
がんばります

暴走政治ストップの
声をあげる町議会を

「戦争法」推進、TPP「大筋合意」、
原発再稼働・・・国民の声に背を向け
るひどい政治が続いています。

この暴走政治にストップをかける力
を地方から大きくすることが大切です。
私は、日本共産党議員として、平和と
暮らしを守るために全力でがんばりま
す。

ご支援・ご協力をお願いします。

町民の声を届け
町政を動かします

●保育料の無料化をすすめます

●子どもの医療費を高校卒業まで無料
にします

●学校給食費の半額助成の実現をめざ
します

●国保税一世帯一百万円の引き下げを
●河川や側溝の泥上げ、整備を促進す
るなど、水害対策の充実

●公民館「図書室」の充実をめざしま
す

●涌谷町の活性化をはかるために、「道
の駅」建設を提案しています

みんなで投票。みんなで参加。
あなたの一票大切に



投票日

12月13日(日)

◎投票時間は、午前7時から午後7時まで

- 入場券に記載されている各投票所で投票
願います。

◎期日前投票は、

12月9日(水)から12月12日(土)まで

- 時間 午前8時30分から午後8時まで
- 場所 涌谷町役場西庁舎 1階第1会議室